



# ひまわり

No.329号

## 仙台で、コンパッション・コミュニティを考えた

10月28-29日は、日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会in仙台が開催され、当院スタッフとともに参加してきました。

大会のテーマは、「おらぁ、ここで最期までいぎてえー“情げぶけえ”コミュニティをめざしてー」東北弁の表現ですが、“コンパッション”の響きをよく表現していると思います。大会長は、谷山洋三さん。僧侶で東北大学大学院教授を務めています。これも画期的なことでした。

今回のテーマでもある“コンパッション・コミュニティ”の運動を世界に広げているアラン・ケレハーさん（米・バーモント大学）と、エマ・ホッジスさん（英国）の講演があり、また関連したいくつかのセッションでも、参加者の熱心な語り合いが盛り上がっていました。これを機会に、各地で“コンパッション”の渦が広がる予感がします。

当院からは、一般口演に「地域の力：Compassionate Community を育てる～にのさかクリニックの取り組み」という演題で、当院の活動と考えを紹介しました。

「世界ホスピス・緩和ケアデー」イベント「世界の現場に心を寄せて考える」では、インド・ケララの報告や徳之島の緩和ケア活動とともに、ニノ坂が、アフリカ・ウガンダの緩和ケア30年の歴史を話しました。（現地滞在のNGO仲間による取材に基づいたものです。）

また、全国のボランティアが集まって語り合う「ボランティア部会～カラフルカフェ」にも参加し、各地のユニークな活動にも感銘を受けました。

残念ながら聞けなかった講演や発表もたくさんありました。これらは、オンデマンドで聴きたいと思っています。震災後に亡くなった名取市の在宅医・岡部健さんを取り上げたシンポジウム、阪神淡路、東日本の震災で被災者支援活動なども、日ホスの活動の大切な柱です。これらも、全国の人たちと共有したいものです。

今回も、各地のいろいろな活動、人々と出会い、改めて人との出会いの大切さを感じた二日間でした。全国からの参加者約700名。対面での語り合い、学び合いを満喫して、それぞれに帰途につきました。福岡で、早良で、コンパッションの風を吹かせたいと思います。

（理事長 ニノ坂 保喜）



### 地域の力：Compassionate Communityを育てる



当院の発表スライドより ※3面に関連記事を掲載

9月16日(土) 電気ビル 共創館

“救急出身の在宅医”、院長二ノ坂建史です。去る9月16日、第41回福岡救急医学会で『救急出身の在宅医が使いこなすミダゾラム～終末期鎮静のみにあらず～』という発表をしました。ミダゾラムとは、病気そのものの苦痛や治療に伴う苦痛を緩和するために意図的に意識をぼんやりさせるための薬剤です。私たちが携わる在宅医療の領域では、終末期鎮静すなわち“亡くなる直前に眠らせるもの”というイメージが強いものですが、最終末期に限らず、急な悪化に対しても上手に使うことで、患者さんの苦痛を和らげ、QOLを保つことができます。そんな例を複数示すことで、“救急出身の在宅医”のアクティビティの高さを知ってもらえたと思います。

そしてなんと、この発表で「会長奨励賞」を受賞しました！一見畑違いと思われる救急領域の学会で、在宅医の活動がこうして認められたことは、とても大きな意義があると思います。患者さんとご家族ができるだけ良い時間を過ごせるよう、これからも努力を続けていきます。



研修医時代の先輩が座長を務めてくれたセッションでの発表でした。

そしてさらに、研修医時代の1年後輩の医師と並んで受賞。喜び倍増でした。

## Hats On For Children's Palliative Care 2023

10月13日(金) 小さなたねより

世界中には2,100万人を超える重い病気や障がいを抱えている子どもたちがいます。しかし、十分なケアを受けられているのは、この中でたったの1%と言われており、残り子どもたちは適切なケアを受けられないまま暮らしています。

10月の第2金曜日は、これらの子どもたちに、痛みの緩和や症状のコントロールをもたらし、可能な限りより良い生活を過ごしていけるようにという願いを込めて『世界中で緩和ケアを必要とする子どもたちのために、帽子をかぶろう！』という活動の日です。

写真は、小さなたねのスタッフ達が、帽子をかぶって撮影した時の様子です。世界中の子どもたちが、適切な緩和ケアを受けられるよう心から願っています。





今回第30回仙台大会に参加、発表してきました。内容としては、にのさかクリニックに外来診療と在宅診療がある意味、遺族の方のボランティア活動について診療

の中で感じたことを伝えてきました。

具体的には、「①病状に応じて本人が外来と在宅を選択できる」「②看取りを通した深い関わりの中でつながりができる」「③遺族が外来に来ることでグリーンケアにつながる」「④遺族やそのつながりの中でボランティア活動が広がり、思いやりの連鎖が生まれる」というものです。私はこのクリニックが、1人では乗り越えられない困難も一緒に悩み考えていけるような地域に根ざしたクリニックであつたらいいなと思っています。また、遺族の方と関わりを持つことも大切にしたいです。在宅診療終了後に、関係が切れることなく外来診療を窓口とし、支えていけたらと思っています。

数ある大会プログラムから、発表を聞いた中で、「半径5mのハッピー」という内容を紹介します。《大きな地域を変えるのは難しい。でも自分の半径5mくらいの方がハッピーになれるように考えてみてください。それをひとりひとりが思うことでそのハッピーが広がっていきます》そんな小さな思いが広がっていきなると素敵だなと思い、そんな地域が作れたらなと思いました。

全国、世界の色々な方に会って、思いを共有することができました。これからも学ぶことを大切にしていきたいです。

(看護師 尾曲)



### □演発表

1番目の発表でした。クリニック看護師、河崎・尾曲で発表しました。今まで準備してきたことを伝えることができました。



### 世界ホスピス・緩和ケアデー

今年もポスター作成し展示しました。医療資源の少ない地域での取り組みから学ぶことが沢山あります。

仙台の街を散策しました。瑞鳳殿に行きました。



### 基調講演

アラン・ケレハーさん

改めてにのさかクリニックの活動を世界へ発信していきたいと思いました。"95%ルール"みなさんにも伝えたいです。

# Event 催し物・イベントのご案内



## クリニックからのお願い



新型コロナウイルス感染症対策  
～発熱時の受診について～

**発熱もしくは風邪症状のある方は  
お車の中で待機していただくか**

**こちらが指定した時間に  
受診していただくことで**

**発熱や風邪症状のある方との接触を  
できる限り避けるようにしています**



発熱または風邪症状のある方は  
まずはお電話にてご相談ください  
受診できる時間や受診する方法について  
ご案内いたします

にのさかクリニック  
☎ 092-872-1136

症状や経過によっては、  
他の医療機関へ受診をお願いする場合があります



**定期の受診、その他の症状で受診される方は  
できるだけ12時までの受診をおすすめします**

皆様のご理解とご協力をお願いいたします

## 予防接種について



### インフルエンザ予防接種

今年も当院では、インフルエンザ予防接種を  
行っています。詳細はお尋ねください。

予約は不要です

・65歳未満の方  
接種料金：3,800円

月・火・木・金曜日  
午前中(祝日前日を除く)

・高齢者のインフルエンザ予防接種  
個人負担金：1,500円

期間：令和6年1月31日まで

対象者：

福岡市に住民票があり、下記に該当する方。

① 65歳以上の方

② 60歳以上65歳未満で心臓、腎臓、もしくは  
呼吸器の機能やヒト免疫不全ウイルスに  
よる免疫機能の障害がある方。

(身体障害者手帳1級相当)

## 来院される皆さまへ



### マスク着用をお願いいたします

感染予防のため、職員はマスクを着用して  
います。来院の皆さまも、引き続きマスク  
着用のご協力をお願いいたします。



		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
9:00	午前	外来診療		訪問診療	外来診療		
13:00		昼休み	健康教室		昼休み		休診
14:00	午後	訪問診療			訪問診療		
17~18:00		※外来診療			※外来診療		

- ※ 午後5:00~6:00の外来診療は、訪問診療の都合により診療開始時間が遅れる場合や診療ができない場合がございます。診察をご希望の方は、事前にお電話いただくと幸いです。
- ※ 健康教室はしばらくのあいだおやすみします。